

8-4-21 鉄道専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

専門委員会の開催回数：9回

(Web 併用開催 8回、Web 会議 1回)

(2) 鉄道専門委員会セミナーの開催

若手および中堅技術者を対象とした、鉄道に関するセミナーを年1回開催した。

・9月20日(火)

「鉄道構造物等設計標準・同解説 シールドトンネルの概要」

講師 野城 一栄 氏

公益財団法人鉄道総合技術研究所 構造物技術研究部トンネル 研究室長 博士(工学)

開催方法 Web 配信、録画配信

※台風の影響により、協会会議室+録画配信を予定していたが、急遽 Web 配信、録画配信となった。

(3) 「品質セミナー」のためのエラー事例の収集と分析を実施。

昨年に引き続き、委員出身各社からエラー事例を収集し整理した。昨年までの181例に14例を追加し195例とした。

また、当委員会は隔年参加となり、今年度は不参加。来年度は参加予定。

(4) RCCM 教材の改訂

RCCM 自主学习システム教材の改訂は、誤字脱字、内容の追加・見直しなど軽微な変更を行った。

同時に演習問題については、章毎の問題数のバランスに配慮し、新規問題の追加および削除を行った。

(5) 「鉄道土木の計画・調査・設計報酬積算の手引き」(改訂第11版)に関する改訂および普及活動

「鉄道土木の計画・調査・設計報酬積算の手引き」(改訂第11版 第2版)について、発注機関等からの問合せにより計13部を配布した。また、建コンの一般用ホームページに掲載して

いる正誤表についても、必要に応じて随時、更新する。

(6) 「報酬積算の手引き」(改訂第11版)に関する質疑対応

「鉄道土木の計画・調査・設計報酬積算の手引き」((一社) 建設コンサルタンツ協会 改訂第11版) に対する質疑について対応した。質疑件数は、5件であった。

(7) 「報酬積算の手引き」(改訂第11版)の改訂作業

鉄道構造物の示方書(鉄道構造物等設計標準・同解説 鉄道総合技術研究所)の改訂に伴い、「鉄道土木の計画・調査・設計報酬積算の手引き」((一社) 建設コンサルタンツ協会 改訂第11版)の改訂作業を行った。

(8) 独立行政法人 鉄道・運輸機構との協議

独立行政法人 鉄道・運輸機構と設計歩掛や業務関連について協議を行った。また、意見交換会(隔年)開催としており、来年度は開催することを考えている。また、継続審議が必要な課題については、必要に応じて実態調査も含めた対応を行い、前向きに協力していく。

2. 次年度の活動について

次年度の活動としては、「鉄道専門委員会セミナー」開催を開催する予定である。エラー事例の収集と分析及び品質セミナーWGの参加、RCCMの自主学习システム教材改訂、「鉄道土木の計画・調査・設計報酬積算の手引き」(第11版)の普及を実施する。加えて、内容の見直しを行い、小改訂することを考えている。

また、鉄道・運輸機構に対しては、意見や要望を提示し協議を継続していく。

その他、鉄道総合技術研究所や鉄道・運輸機構の窓口として、技術標準の改定に伴う資料の収集と展開などの役目を果していく。

(鉄道専門委員会委員長 横田 昌也)